



この度の熊本地震でお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、ご遺族の皆様にご心よりお悔やみを申し上げます。1日も早い復旧をご祈念申し上げます。

35世住職 尾藤宏明 合掌

ご挨拶

千葉名産の「梨の季節」も終わり、秋へと向かっている今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。35世住職の尾藤宏明です。本光寺に秋の便りとともにやってくるのが「お会式」の儀式です。

ご承知の通り、本光寺は日蓮宗のお寺ですので、季節ごとに催しがあります。秋は「お会式」が重要な儀式になります。簡単に「お会式」について説明します。「お会式」は一言でいうと日蓮宗の宗祖日蓮聖人がお亡くなりになった日です。日蓮聖人は1282年10月13日に現在の池上本門寺でお亡くなりになりました。享年61歳でした。

「お会式」で使う提灯は「万灯」といい、多くは塔を模したものです。

桜の造花を飾って万灯供養を盛大におこなうのは、日蓮聖人が亡くなった日、日蓮聖人がもたれ掛かった桜の木が季節はずれの花を咲かせたという故事に由来しています。

本光寺では10月28日に「お会式」をとりおこないます。

35世住職 尾藤宏明 合掌

日蓮聖人の生涯



日蓮宗の宗祖、日蓮聖人は、相次ぐ自然災害や争乱などで混乱を極めた鎌倉時代に生き、幾多の困難に見舞われながらも、強い信念のもと、お釈迦様の教えを日本

の地でひろめた方です。

日蓮聖人は来世ではなく現世での在り方を問い、「今をイキイキと生きること」が説かれた「法華経」こそ、混迷した世の中を正し、人々を救う「お釈迦様の真の教え」であると説かれました。

住職のちょっといい話

平成27年6月某日、檀家のお嬢様からお電話をいただきました。「父親が入院中なのですが、お迎えが近いようです。お金がないので、火葬だけで済ませたいのですが…」

住職は、電話では事情がよく呑み込めなかったので、本光寺までお越しいただくように、お嬢様にお願ひしました。

その日の午後、お越しいただきまして、よくよく事情をお聞きしたところ・・・

葬式の準備をしようと、両親の通帳を見たところ、貯金が一銭もないことが発覚!

お嬢様もシングルマザーで頑張っており、経済的に余裕がないということなんです。

住職は決心しました。

「お金のことは心配しなくていいので、お葬式を本光寺の本堂で行いましょう。お戒名も授与します。」

お父様はお寺の祭事にもよく参加され、お寺のためにご協力していただいたので、お葬式をしないという

のは住職にとって妥協できなかったのです。

「でも、お布施はいくら包めば…」

「お布施は本当にお気持ちでいいです。心配しないでください。」

お嬢様は安心した様子でお帰りになりました。

数日後、お父様がお亡くなりになりました。

住職の提案通り、本光寺の本堂でお葬式をあげ、火葬後、納骨まで済ませました。お葬式後、お嬢様がお越しになり、お布施を置いていきました。

そして、数日後、「本当にありがとうございました。助かりました。」と、さらにお布施を置いていかれました。

住職の心は、清々しい気持ちで、今までに感じたことのない感覚を覚えていました。

「これこそが僧侶のなすべきことなんだな～」

本光寺いい話でした。

本光寺では5つの公開教室を開催しています。5回目は着付け教室です。

公開教室のご紹介

第5回 着付け教室

日本の文化を後世に伝えていきたいと本光寺では文化活動の一環として、仏画教室、茶道教室、写経教室、仏像彫刻教室を開講してまいりました。

第5弾として、平成24年2月より「着付け教室」を開講しております。着物という言葉の由来ですが、洋服が日本で普及する以前は、衣服一般を「着物」と呼んでいました。着物という言葉に日本文化と西洋文化を区別する意味はなかったと言われていました。明治時代以降、洋服を着る人が日本で増え始めたため、洋服と区別するために日本在来の衣服を和服と呼ぶようになっていきました。今では和服を着物という呼び方で区別をしています。

本光寺の着付け教室では、着付けだけでなく着物を着た時のマナーや立ち振る舞いなども学習していきます。日常の立ち振る舞いも変わってくるかもしれません。

着物をお持ちでない方でも大丈夫です。お気軽にご参加できます。着物を着てみませんか。そして街に出かけませんか。

本光寺では11月(予定)に仏前結婚式をとりおこないます。結婚式の着物の着付けやお化粧なども行ってまいります。ぜひ一度ご相談ください。



山本ひとみ先生



一緒に着付けを楽しみましょう!

35世住職 尾藤宏明 合掌

本光寺では日本の文化の発見ということで、他にも仏画・写経・茶道・仏像彫刻教室を行っております。今回は最後の教室のご紹介になります。ご参加お待ちしております。

お守りストーリー — Good-Luck STORY —

男守り

「男守り」は力強い黒のたとう紙に龍を描き、妙見菩薩のお力をお借りします。

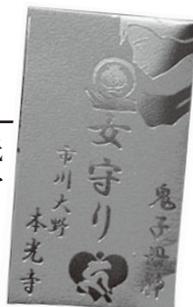
毎月15日
(10:00~17:00)



女守り

「女守り」は愛情深い赤のたとう紙に天女を描き、鬼子母神のお力をお借りします。

毎月8日
(10:00~17:00)



強く優しく

(2016年6月16日の本光寺住職のお言葉より)

昨今、健康についての話題は老若男女を問わず世間をにぎわせています。健康であればよく眠れおいしく食事を味わうことができます。

しかしいろんな要因でメリハリのない日常生活を過ごしておられる人も多いようです。本光寺にもそんなお悩みを抱えた人が参拝にこられます。話を聞くだけでなく、寄り添って励ますことを考え始め、この御守を作ることにたどり着きました。

「男性は活力みなぎるやる気と輝き」を妙見菩薩のお力をお借りして、「女性はありのままの美しい自分らしさ」を鬼子母神のお力をお借りして、「強く優しく」をコンセプトにデザインを考えています。

皆様にご授与できる日が待ち遠しいです。

※寺務所授与所にて授与します。
オンラインショッピング(通販)では対応しませんので、ご遠方であっても本光寺までお越しください。